

平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月26日

上場取引所 東

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月26日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 青山 英生
 (氏名) 木村 裕史

TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第1四半期の連結業績(平成26年8月21日～平成26年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	4,035	0.4	△42	—	△35	—	△23	—
26年8月期第1四半期	4,020	94.8	△90	—	△83	—	△49	—

(注) 包括利益 27年8月期第1四半期 1百万円 (—%) 26年8月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第1四半期	△4.09	—
26年8月期第1四半期	△8.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第1四半期	8,597	2,547	29.6
26年8月期	8,626	2,557	29.6

(参考) 自己資本 27年8月期第1四半期 2,547百万円 26年8月期 2,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年8月21日～平成27年8月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,474	△1.0	△64	—	△60	—	△50	—	△8.77
通期	17,887	△1.2	79	△10.5	82	△14.1	5	△76.6	0.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期1Q	5,875,000 株	26年8月期	5,875,000 株
② 期末自己株式数	27年8月期1Q	152,861 株	26年8月期	152,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期1Q	5,722,171 株	26年8月期1Q	5,722,185 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年8月21日～平成26年11月20日)におけるわが国経済は、7～9月のGDP成長率が2四半期連続の前期比マイナスとなるなど、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化することによる景気への影響が鮮明となりました。

特に個人消費の低迷が続き、また中小企業における収益改善も足踏み状態にあり、景気全体は依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループが位置するオフィス用品の分野においては、企業の経費削減の徹底により、競合間での受注を巡る価格競争は激しく、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループではお客様満足の上をめざし、営業部員を中心にTS(テクニカルサービス)研修を継続的に行うことのお客様接点の強化に努め、コスト削減と環境貢献につながる提案を積極的に展開しました。

これらの結果、売上高は4,035百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。営業損失は42百万円(前年同四半期連結累計期間は90百万円の営業損失)、経常損失は35百万円(前年同四半期連結累計期間は83百万円の経常損失)、四半期純損失は23百万円(前年同四半期連結累計期間は49百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(サプライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクルトナーは子会社の株式会社アイオーテクノによる販売が順調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

OAサプライ商品は、純正インクやリパックインク、リパックリボンなどのプリンター消耗品の売上高が堅調に推移しました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」による一般事務用品などの売上高、連結子会社である株式会社青雲クラウンの売上高がともに低調に推移しました。

これらの結果、売上高は3,992百万円(前年同四半期比0.6%増)、セグメント損失(経常損失)は33百万円(前年同四半期連結累計期間は87百万円のセグメント損失)となりました。

なお、当四半期連結累計期間より、その他商品には新たに連結対象となった株式会社キタブツ中部の売上高が加わっております。

また、当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

(ソリューション事業)

「@Securemail」シリーズによる売上高が増加したものの、大型SPIS-BOX案件終了などによる売上減の影響を受けました。また、技術部門の人員補強により販売管理費が増加しました。

これらの結果、売上高は43百万円(前年同四半期比17.2%減)、セグメント損失(経常損失)は2百万円(前年同四半期連結累計期間は3百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ29百万円減少し、8,597百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加の5,695百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が193百万円増加し、現金及び預金が238百万円減少したこと等によりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少の2,902百万円となりました。これは主に、無形固定資産が17百万円、投資その他の資産が30百万円減少したこと等によりです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少の5,098百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が107百万円減少したこと等によりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加の950百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債を114百万円計上し、長期借入金で35百万円減少したこと等によりです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少の2,547百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が25百万円増加し、四半期純損失の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が34百万円減少したこと等によりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の業績予想につきましては、平成26年10月3日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便的な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,392,495	2,154,181
受取手形及び売掛金	2,657,270	2,851,175
有価証券	21,009	21,011
商品及び製品	442,160	501,823
仕掛品	66	309
原材料及び貯蔵品	54,926	65,329
その他	99,841	105,557
貸倒引当金	△5,818	△4,280
流動資産合計	5,661,951	5,695,107
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,104,279	1,104,279
その他(純額)	497,386	482,691
有形固定資産合計	1,601,665	1,586,970
無形固定資産		
のれん	102,532	101,108
その他	213,421	196,906
無形固定資産合計	315,954	298,015
投資その他の資産		
その他	1,054,421	1,024,265
貸倒引当金	△7,131	△7,245
投資その他の資産合計	1,047,289	1,017,020
固定資産合計	2,964,909	2,902,006
資産合計	8,626,861	8,597,113

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,123,244	3,015,347
短期借入金	1,572,257	1,593,537
未払法人税等	11,162	5,601
賞与引当金	36,223	20,455
その他	452,306	463,614
流動負債合計	5,195,194	5,098,554
固定負債		
長期借入金	674,617	638,819
役員退職慰労引当金	83,471	79,977
退職給付に係る負債	—	114,837
その他	115,839	116,930
固定負債合計	873,927	950,565
負債合計	6,069,121	6,049,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	708,475	708,475
利益剰余金	1,544,491	1,509,622
自己株式	△46,419	△46,431
株主資本合計	2,501,222	2,466,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,516	81,653
その他の包括利益累計額合計	56,516	81,653
純資産合計	2,557,739	2,547,993
負債純資産合計	8,626,861	8,597,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成25年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月21日 至平成26年11月20日)
売上高	4,020,812	4,035,586
売上原価	3,251,068	3,226,461
売上総利益	769,744	809,125
販売費及び一般管理費	860,091	852,112
営業損失(△)	△90,347	△42,987
営業外収益		
受取利息	210	45
受取配当金	4,343	6,542
仕入割引	8,451	9,045
受取家賃	7,813	6,409
その他	3,912	3,000
営業外収益合計	24,731	25,042
営業外費用		
支払利息	5,691	5,193
売上割引	10,169	9,790
その他	2,482	2,631
営業外費用合計	18,344	17,615
経常損失(△)	△83,960	△35,560
特別利益		
保険解約益	12,198	—
特別利益合計	12,198	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	260
特別損失合計	—	260
税金等調整前四半期純損失(△)	△71,762	△35,820
法人税、住民税及び事業税	2,247	5,097
法人税等調整額	△24,126	△17,491
法人税等合計	△21,879	△12,394
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△49,882	△23,425
四半期純損失(△)	△49,882	△23,425

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成25年11月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年8月21日 至平成26年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△49,882	△23,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,689	25,136
その他の包括利益合計	8,689	25,136
四半期包括利益	△41,192	1,711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,192	1,711
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年8月21日 至 平成25年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,968,436	52,376	4,020,812	—	4,020,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	94	94	△94	—
計	3,968,436	52,470	4,020,906	△94	4,020,812
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△87,780	3,820	△83,960	—	△83,960

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年8月21日 至 平成26年11月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,992,211	43,375	4,035,586	—	4,035,586
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	94	94	△94	—
計	3,992,211	43,469	4,035,680	△94	4,035,586
セグメント損失(△)	△33,365	△2,194	△35,560	—	△35,560

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を図っております。